

VI 研究を終えて

平成27年度に、ふくしまを“知って！味わう！”学校給食～食文化の伝承と地場産物の活用～をテーマに、福島県の浜通り、中通り、会津の三地方の郷土食を中心に研究を進め報告書を作成しましたところ、多くの皆様方にご活用いただくことができました。そして、学校給食関係者はもとより一般の皆様方からも、学校給食への期待と温かい励ましのことばをいただきました。

文部科学省の「食に関する指導の手引き」や福島県教育委員会が策定した「ふくしまっ子食育指針」には食文化を理解しはぐくむこととされていますが、平成28年度から平成32年度までの5年間で期間とする第3次食育推進基本計画では、5つある重点課題の1つに食文化の伝承に向けた食育の推進があり、食文化を次代に継承する上でも行事食を通じた食育は重要であると示されています。

現在、それぞれの地域にある祭りや行事で、四季折々の自然から生み出される食材を使って作られている行事食を、学校給食に取り入れて実施しているところですが、今一度立ち返って、平成28年度は福島県の行事食をテーマに、浜通り、中通り、会津の三地方の行事食や新しい視点から時代に対応した新しい行事食について研究を進めてまいりました。

一年を通して本研究会の委員である栄養教諭、学校栄養職員が給食に提供してきた行事食、学校行事と組み合わせた行事食、新しく開発したメニューの紹介と共に、その行事にまつわる歴史やいわれ、教師や栄養教諭、学校栄養職員が給食の時間に食の指導をするための指導資料、児童生徒が活用できる放送資料等も盛り込んで報告書を作成しました。

この調査研究に当たり、福島県教育庁健康教育課主任栄養技師佐藤三佳様、事務局の川本輝子様には、的確な指導助言やご準備をいただきました。

この冊子は、どなたがどこからご覧になっても福島県内の行事食を理解できると共に、行事食を学校給食への活用が図られるように作成されています。ぜひ、毎日の給食とともに私たちの生活を豊かにする行事を大切に、行事食を楽しんでいただけたら幸いです。

委員長 松谷 祐子
副委員長 櫻井 長子

講師・委員の先生方より一言

講師・指導助言者 佐藤 三佳 様

本書は、広い県内の三地区で育まれてきた沢山の行事食を、暦毎に整理し、献立作成や食に関する指導等に今すぐ活かせる一冊となりました。児童生徒や保護者の皆様へ、給食を通して郷土の食文化を伝え繋いでいきたい、という委員の方々の熱意が詰まっています。どうぞ広くご活用ください。また、研究の機会を与えてくださった給食会様には、感謝を申し上げます。

高橋 幸子 委員

行事食を給食で提供し、放送や掲示などで指導をしていますが、調査では「知らない・食べたことがない」という回答がありました。もっと記憶に残るように働きかけなければと思いました。

永久保 小百合 委員

一年間、先生方のお力をお借りしながら、委員としての任を務めることができましたことに感謝しております。この報告書作りを通して、「ふくしまの良さ」をあらためて知ることができました。これからも、学校給食を通して「ふくしまの良さ」を「教えて！味あわせて！」伝えていくよう努力していきます。お世話になりました。

双石 良子 委員

お正月のお節料理から大晦日の年越しそばまで生活の節目にいただく行事食は、いわれと共に地域の文化や地元の食材を知ることにつながり、心が豊かになると改めて感じました。子どもたちの生活の中に忘れられずに根付き、伝承されていくことを願いながら、これからも学校給食に多くの行事食を取り入れていきたいと思っています。

飯塚 康子 委員

家庭での行事食が年々消えていく様子が肌で感じられます。そのため、給食での役割が重要になってきました。また家庭や後輩にも参考になる本ができて良かったと思います。今回の研究会に参加したことで勉強になりました。

岡田 真樹 委員

今回調査研究委員に参加させていただいたことに感謝いたします。同じ行事食でも、福島県も3地方それぞれに謂われや歴史があり、改めて、その奥深さを感じた1年間でした。そんな魅力あふれる行事食を、給食に取り入れるきっかけとしてこの資料を活用していただければ幸いです。

松谷 祐子 委員長

昔は、家庭生活の中で、身につけ伝承されていた行事食ですが、今回の調査研究を通して、行事食の伝承が学校給食にゆだねられていると感じました。その行事に込められた思いというのは、地域によって違いますが、行事にふれることによって先人の知恵や生活、ならわしなどを学ぶ機会となるような学校給食を目指していきたいと思っています。

青塚 智美 委員

全国的な行事食にも、県や地域によって様々な特徴があり、私自身勉強になることがたくさんありました。深く調べるほどに、食のおもしろさを実感できました。この経験を生かし、これからも、子どもたちへの食への興味関心を高められるような指導を行っていききたいと思います。

中野目 由実恵 委員

食育に関する調査研究会に参加させていただき、福島県の行事食についてより深く勉強することができました。給食を通して、子どもたちに生まれ育った地域の食文化を伝えていきたいです。1年間ありがとうございました。

中川 君枝 委員

いつも何気なく献立に取り入れている行事食ですが、改めて、食文化について学ぶことができました。一つ一つ意味をもつ行事食を、給食を通して子どもたちに継承できるものになったと思います。

福山 桂子 委員

日常生活の中でだんだんうすれつつある行事食を見直す良い機会となりました。1年間を通して行われる行事食にこめられた意味を再認識し、学校給食を通じて家庭へ波及していくことを願っています。

櫻井 長子 副委員長

福島県の浜・中・会津の行事食について研究する機会をいただきました。地域の行事とその時に食べられている食べ物が強く結びつき、現在も伝えられている行事食をまとめました。福島県の豊かな行事食を子どもたちに伝承していく時に、ご活用いただければ幸いです。

佐藤香代子 委員

行事食やいわれについて、知っているようで知らなかったことがたくさんあり、行事食とは奥が深いものだというのを改めて再認識しました。完成した冊子を通し、子どもたちから浜・中・会津の行事食を次世代へと受け継がれていくことを願っております。また、多くの地域の方々にも活用していただければ幸いです。

志賀 敦子 委員

行事食というと、デザートや添加物等を取り入れて…と言うことが多かった中、各地方・行事ごとの献立や由来等も掲載された冊子が出来、今後の献立作成に大いに役立させていただきたいと思っています。一年間お世話になりました。大変勉強になりました。

武田加代子 委員

実質一年足らずの短い期間でしたが、大変勉強になり、また新鮮でもありました。同じ会津でも地域、作る人により違うこと、さらに南会津となれば、まったく他の地区と思えるほどの違いに改めて気付かされました。すばらしい資料集ができあがったとおもいます。

阿部絵里子 委員

今年度この調査研究会を通して、大変勉強させていただきました。地域の行事や行事食を深く調べることで、改めて学校給食の意義や多様性を確認することができました。それぞれの地域で実際の給食に出されている献立ですので、たくさん活用していただけると嬉しいです。

事務局 川本 輝子

講師・指導助言の先生、委員の先生方にはお忙しい中、一年間大変お世話になりました。コツコツ、黙々と熱心に取り組んでいただき、福島県内隅々の行事食を献立、いわれ等とともに楽しく見ることができました。また、すぐ活用できる大変参考になる、中身の濃い1冊が出来上がりました。心より感謝申し上げます。

【 参 考 文 献 等 】

- ・「いわきの年中行事なぜなぜ」(岩崎敏夫 はましん企画) 1978年11月
- ・「こんな暮らしがあった」(歴史春秋社) 1981年 8月
- ・「聞き書 「福島のご飯」」(農文社) 1987年12月
- ・「海の幸・山の幸大百科 (第3巻)」(ぎょうせい) 1990年 3月
- ・「いわき市伝統郷土食報告書」(いわき市) 1995年
- ・「会津の年中行事と食べ物」(平出美穂子) 1999年10月
- ・「中通りの年中行事と食べ物」(平出美穂子) 2000年10月
- ・「浜通りの年中行事と食べ物」(平出美穂子) 2001年12月
- ・「食ふくしま新ふーど記」(福島民友新聞社) 2003年12月
- ・「ふくしま食の民俗」(近藤榮昭・平出美穂子 歴史春秋出版株式会社) 2005年 1月
- ・「かんたん給食だより工房」(全国学校給食協会) 2005年 6月
- ・「すぐに使える「給食だより」素材」(健学社) 2005年 6月
- ・「あぶくま山系の食事」
(あぶくま結いの里パートナーシップ協議会、伊達市霊山総合支所地域振興課) 2005年11月
- ・「「和」の行事えほん1 春と夏の巻」(高橋紀子 あすなろ書房) 2006年 6月
- ・「季節の食育」(服部津貴子 岩崎書店) 2006年 9月
- ・「イラスト版子どもの伝統行事」(谷田貝公昭 合同出版株式会社) 2006年10月
- ・「ふくしま食のたくみ」(福島市農政部農業振興課) 2007年 3月
- ・「食育のイラスト」(株式会社 MPC) 2007年 3月
- ・「食育おたすけフォーム集」(株式会社 MPC) 2007年 5月
- ・「すぐに使える給食だよりブック」(健学社) 2007年 9月
- ・「給食ニュース大百科」(少年写真新聞社) 2008年 3月
- ・「給食だより工房第2集」(全国学校給食協会) 2008年 7月
- ・「中通りの郷土料理」(平出美穂子) 2009年 5月
- ・「いわき昔野菜図譜」(いわき市) 2011年
- ・「古文書にみる会津藩の食文化」(平出美穂子) 2014年 1月
- ・「10分でできる食育わくわくグッズ」(たんぽぽ出版) 2014年 3月
- ・「食育フォーラム」(健学社) 2014年 5月
- ・「会津の食に関する民話・伝説 CD 集」(全会津語りの会) 2014年
- ・「食育早わかり図鑑」(群羊社) 2015年 6月
- ・「学校給食」平成27年 8月号 (全国学校給食協会) 2015年 8月
- ・「マイ・ヴィンテージ・ハロウィン」(マリオン・ポール 株式会社グラフィック社) 2015年 8月
- ・「食育フォーラム」(健学社) 2015年11月号
- ・「田島祇園祭のおとうや行事」(南会津町教育委員会) 2016年 2月
- ・「給食ニュース大百科2016」(少年写真新聞社) 2016年 2月
- ・「食育早わかり図鑑第2巻」(群羊社) 2016年 8月
- ・「給食ニュース」(少年写真新聞社) 2016年10月号
- ・「(公財) 福島県学校給食会第5回食育に関する調査研究会講話」
(平出美穂子講話資料) 2016年12月
- ・「日本歯科医師会ホームページ」 2017年 2月
- ・「農林水産省野菜生産出荷統計」等 (農林水産省ホームページ) 随時更新
- ・「写真」(南会津ホームページ) 随時更新
- ・「写真」(福島市観光コンベンション協会)
- ・「会津の初市の習俗」(国指定文化財等データベース文化庁)
- ・「写真」(全国学校給食連合会ホームページ)
- ・「飯野八幡宮パンフレット」(飯野八幡宮社務所)
- ・「飯野八幡宮ホームページ」
- ・「ただみうまいもん」(只見町役場保健福祉課)
- ・「資料」(郡山市保健所地域保健課)
- ・「日本スポーツ振興センターホームページ」
- ・「南会津町たのせ集落ブログ」
- ・「全国学校給食会連合会ホームページ」
- ・「写真」(一般社団法人いわき観光まちづくりビューロー)
- ・「写真」(福島県農林水産部農産物流通課農林水産物公開資料)
- ・「写真」(会津まつり協会ホームページ)
- ・「伊達市観光情報ポータルサイトだてめがね 伊達市観光物産交流協会 ホームページ」
- ・「写真」(南相馬市教育委員会)

食育に関する調査研究会設置要項

公益財団法人 福島県学校給食会

1 趣 旨

今日の食を取り巻く状況は、社会情勢の変化等に伴い、様々な問題が指摘されており、特に、子どもたちの生活習慣の実態についても、食生活の乱れや健康問題が憂慮される状況にあります。

また、平成17年の食育基本法の制定に次いで、平成21年には学校給食法に食育の推進が明記され、学校給食は、生きた教材として、食べる力や感謝の心・郷土愛をはぐくむとともに、望ましい食習慣や食の安全に関する適切な判断力を養うなど、教育活動全体の中で取り組んでいくこととされています。

こうした中で、学校給食を取り巻く様々な問題や課題について、その実態の把握や対応策、指導法等について調査研究を行い、その結果を広く学校における食育活動に活用していただくことを目的に、公益財団法人福島県学校給食会に、食育に関する調査研究会（以下「調査研究会」という。）を設置します。

2 調査研究の内容

調査研究会は、次に掲げる事項について調査研究します。

- (1) 肥満、偏食など食生活の改善に向けた相談・指導方法等に関する調査研究
- (2) 学校給食で不足しがちな栄養素を摂取する献立や指導法等に関する調査研究
- (3) 学校給食における地場産物の活用推進に関する調査研究
- (4) 緊急時における学校給食の在り方や食の安全に関する調査研究
- (5) その他、食育の推進に関し必要と認められる調査研究

3 委員等

- (1) 調査研究会の委員は、学校関係教職員20名以内をもって構成し、公益財団法人福島県学校給食会長（以下「会長」という。）が委嘱します。
- (2) 委員の任期は2年とします。なお、任期の途中で委員が交代した場合には、後任の委員の任期は前任の委員の残任期間とします。
- (3) 調査研究会に、委員の互選により、委員長1名及び副委員長1名を置き、委員長は会議を掌理し、副委員長は委員長を補佐し委員長に事故あるときはその職務を代理します。

4 会 議

- (1) 調査研究会は、会長が招集します。
- (2) 調査研究会の議長は、委員長がこれにあたります。
- (3) 委員長は、必要があるときは委員以外の者の出席を求め、意見を聞くことができます。

5 その他

この要項に定めるもののほか、調査研究会の運営に必要な事項は会長が別に定めます。

附 則

この要項は、平成18年4月1日から施行します。

この要項は、平成20年8月1日から施行します。

この要項は、平成25年4月1日から施行します。

食育に関する調査研究会委員等名 (平成28年度)

委員長	松谷 祐子	栄養教諭	会津若松市会津若松学校給食センター
副委員長	櫻井 長子	栄養教諭	南相馬市立原町第一中学校
委員	高橋 幸子	主任栄養技師	福島市立渡利小学校
委員	青塚 智美	栄養技師	福島市立野田中学校
委員	佐藤 香代子	栄養教諭	伊達市保原学校給食センター
委員	永久保 小百合	主任栄養技師	郡山市立大槻小学校
委員	中野目 由実恵	副主任栄養技師	石川町立石川中学校
委員	志賀 敦子	栄養教諭	田村市学校給食センター
委員	双石 良子	栄養教諭	白河市学校給食センター
委員	中川 君枝	主任栄養技師	会津若松市城西小学校
委員	武田 加代子	主任栄養技師	磐梯町学校給食共同調理場
委員	飯塚 康子	栄養教諭	南会津町伊南学校給食センター
委員	福山 桂子	栄養教諭	広野町学校給食共同調理場
委員	阿部 絵里子	栄養技師	いわき市立三和学校給食共同調理場
委員	岡田 真樹	栄養教諭	いわき市立四倉学校給食共同調理場

講師及び指導助言者	佐藤 三佳	主任栄養技師	福島県教育庁健康教育課
事務局担当者	川本 輝子	主任栄養技師	公益財団法人福島県学校給食会



あ と が き

本会では、平成18年度から食育の普及充実に資することを目的として「食育に関する調査研究会」を設置し、その時々为学校給食における課題等について研究を進めております。

平成27年度は、「郷土食・伝統食と食文化の伝承」をテーマに報告書を作成し各関係機関に配布したところです。

平成28年度は昨年度に引き続き、第二弾として、「行事食と食文化の伝承」について県内隅々の行事食を更に調査し、学校給食の献立やそれにまつわるいわれ、給食時間における指導資料や放送資料の調査研究を進めてまいりました。

その土地への聞き取りや、学校給食用にアレンジするための料理の研究を進めたりと、お忙しい中肅々とお取り組みいただきました。

最後に、調査研究会委員の先生方、指導・助言の講師の先生には心からの感謝と御礼を申し上げます。

平成28年度食育に関する調査研究会報告書

ふくしまを“知って!味わう!” 学校給食Ⅱ 行事食と食文化の伝承

平成29年3月発行

編集発行 公益財団法人福島県学校給食会
会長 佐藤 俊市郎

発行所 公益財団法人福島県学校給食会
福島市松川町字平館16-2

印刷所 陽光社印刷株式会社

